

シャローム



撮影・新津保建秀

澄み渡る大空は天の高みの誇り、
天の姿は栄光に満ちた眺め。
(シラ書 43章1節)

2021年
秋号
500号記念
特集

目次

— 出会い、つながり、一致する共同体 —
One Team Spirit 「一人一役」

「一人のキリスト者として」・・・2p	日本の教会「武蔵野南宣教協力体の紹介」・・・11p
500号記念特集・・・4p	日曜学校だより・・・12p
「マオリの人々と歩んだ日々」・・・10p	教会の動き・司祭団の近況・・・14p

一人のキリスト者として 荒田啓示神父

7月末から吉祥寺教会の洗礼希望者のための入門講座が始まりました。入門講座では、キリスト教とは何か、イエスは誰か、といった信仰の根本的な部分から、※組織神学や聖書学、典礼学といった、カトリック信徒として正しい信仰生活を送るために必要なことを学びます。

これらの知識は、間違いなくカトリックの信仰を送るに必要不可欠なものです。例えば聖書の言葉ひとつをとっても、自分自身に都合の良い解釈だけを受け取っている、カトリック教会全体として示しているイエスの正しい教えを送ることはできません。そのために私たちは、主日の説教をはじめ、講座や神学者のさまざまな著作などから、聖書の言葉の正しい理解や意味を学んでいるのです。同時に、私たちキリスト者はこうした正しい知識、教えを受け取るだけでなく、

それをどのように日常生活の中で実践していくのか、という部分にも目を向けなければなりません。日々の生活の中でイエスの教えを送る、ということを考えて時、何よりもまず自分自身に目を向けてみるべきですが、自分以上に気になってしまふのが「他人」という存在であります。

私たち人間の多くは、自分を努力する方向へと厳しくコントロールすることはなかなかできないものですが、その一方で、他人の行動には必要以上に敏感で「お前が言えることか」とツツコミを入れたくなるようなことも平気で指摘するなど、他人に厳しく自分に甘いという振舞いを見せることがよくあります。今この話を読んで、中には、「ああ、あの人のことだな」と特定の誰かを思い浮かべた人もいるかと思いますが、まさに、そう考えてしまうこと自体が、他人に厳しく、自分に甘い、ということのいい見本なのだと言えます。

マタイ福音書の中でイエスは「借金を帳消しにしてもらふしもべ」の例えを話します。しもべは、自分が背負っている莫

大な借金を、主人に帳消しにしてもらっておきながら、その後、自分にわずかな額の借金をしている他の人を見つけては、とんでもなく厳しい追及をしてみまい、それを見ていた主人の怒りを買う、という例え話です。

この話は人が「赦される」ということが中心のテーマとなっていますが、同時に、自分の行動や責任を軽くとらえながらも、他人には厳しい要求をするという、人間の弱さ、愚かさをわかりやすく例えている箇所でもあります。他人に甘ければ自分に甘くても良い、とか、自分に厳しければ他人にも厳しくてもよい、ということが正解であるとは言えませんが、少なくとも自らの行動はどのようなものであるかをよく省みることは、人間が生きていく上で必要不可欠なことであると言えるでしょう。また、言葉にせずとも、時には心の中で他人を下に見て、気持ちの安定をはかるようなこともあります。とにかく、私たちは、いちいち他人を引き合いに出したがりません。もちろん他人をよく見ることは悪いことでなく、良い面も多くあるものですが、指摘や比較

をするだけで、そこから自分自身への教訓として受けとるものが何も無ければ、その行動に大きな意味があるとは言えないのです。

イエスの教えを日々生きることを目指す私たちは、多くの人間の、さまざまな一面を見るとともに、それらを自分自身の反省、成長のきっかけの一つとして積極的に受け入れていくことが何よりも大切な姿勢であると思います。そうした姿勢を整えていくためにも、私たちはまずイエスの言葉、教えを正しく理解することから始めなくてはなりません。一人のキリスト者として、そして教会共同体全体として、日常のどの場面においてもイエスの教えに倣った生き方の歩みを少しずつでも進めていくことができるように、改めて、自分自身の行動を見直してみたいと思います。

※組織神学とはキリスト教信仰を体系的に考える神学。三位一体論やキリスト論がこれに当たります。

7月第4日曜は

「祖父母と高齢者のための世界祈願日」

9月20日は敬老の日でしたが、緊急事態宣言の延長を受けて、家族の訪問や外出を控えた方も多かったのではないのでしょうか。振り返ると、昨年、東京教区では新型コロナウイルス感染症防止対策により、75歳以上の方が突然ミサに参加できなくなっていました。やむを得ないこととはいえ、毎週のミサや教会活動、友人との出会いを心の糧にしていた方にとっては、どんなに辛く寂しい日々であったかと心を痛めています。

そんな中、84歳の教皇フランシスコは、感染症の流行によって社会から引き離され、長期にわたって孤独を強いられる高齢者に、寄り添い励ます行動を起こされました。それが「祖父母と高齢者のための世界祈願日」の創設です。イエスの祖父母、聖ヨアキムと聖アンナの日に近い7月第4日曜に定められ、第1

回は7月25日。テーマは「わたしはいつもあなたがたと共にいる」でした。

教皇フランシスコは祈願日に先だつメッセージで、祖父母や高齢者、特に孤独に苦しむ方に、主は孫や家族、旧友らの顔をした天使を遣わし、孤独を慰め続け、「わたしはいつもあなたがたと共にいる」と繰り返されていると語り掛けます。また、高齢者には若者に伝統や信仰、戦争の辛い記憶などの人生経験を伝えて、彼らの未来図を喚起する召命があるといい、若者との対話を呼びかけられました。

今後も毎年7月の祈願日に、祖父母と高齢者への祈りが世界中で捧げられます。
(ヤコブ^{ヤコブ}八昆布)

参考

カトリック中央協議会ホームページ
ヴァチカンニュース



①1948年8月発行 黎明期バージョン(昭和23年)

吉祥寺天主教會同報

1948年8月號

②1953年9/20 創刊第2号(創刊号は欠号)

吉祥寺教会報

第2号(1953.9.20)
創刊号は欠号
発行所 吉祥寺天主教會同報
責任者 藤沢千子

③1953年10/25 第3号

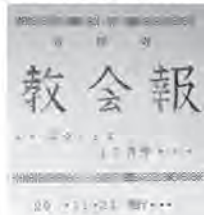
吉祥寺教会報

NO.3

④1953年11/15 第4号



⑤1954年11/21 第14号



⑥1961年3月 第83号

コピー機もない時代。ロゴは毎回手描き。
教会と聖霊のハトの絵が毎号微妙に違って
当時の苦労がしのばれました

教会報シャローム 500号分の足跡を たどる

1948(昭和23)年から73年をかけて
積み重ねてきた500号。
今回この特集を組むにあたり、過去
資料から、タイトルロゴの変遷、こ
んなコラム、あんな企画、今も色褪せな
い記事等を抜粋してみました。
「懐かしい」或いは「こんなだったん
だ」と、ご一緒に教会広報のあゆみを
分かち合っていたただければ幸いです。
山あり谷ありの長く、道のりでした。
そしてこれからも…。



★1974年(昭49)から2007年(平19)まで続いた、表紙の下段でいろんな方に書いていただいた「自由席」

自由席

十三年前オランダに滞在中、主人が交
通事故にあいハールレムの病院にかつき
こまれた。主治医となった日医師に会う
と、彼は握手しながら、

「お早うさん。元気ですか。」

と云った。驚く私達に彼は、戦時中イン
ドネシアにいた時日本の憲兵隊に大変ひ
どい目にあわされた事、日本語はその残
り火のようなものである事を語った。

日医師の適切な処置のお陰で主人は一
命をとりとめ、退院間近なある日、私は
日医師に云った。

「恨みは絶対に忘れないという人々も
いますし、それも当然ですが、私達が一
番親しくしている老夫婦は日本軍のおか
げで辛苦をなめた人々ですし、皮肉な事
に先生も自分を苦しめた国の人の命を救
って下さったのですね。」

「人生は短いのです。恨みを持ち続け
て生きるにはもったいなさすぎます。」
と日医師は答えた。かつてアンネ・フラ
ンクを匿まった国の人の口から出たこの
言葉は、私の耳には「主の平和」のこと
くに響いた。

(渡部 三千子)

【1992年】8月361号

祝・500号記念特集

【1953年】
図書室からは「書籍よ戻れ」の呼びかけも。一文字ずつ
手書きで作られた「謄写版(カリ版印刷)」の時代でした
(図書室は今も休室中です)

書籍よ戻れ！
最近書庫に図書室の図書の中に、返済期限
が過ぎても戻らぬものが多く、非常に困
惑しております。至急返済下さい。(係)

定価 二十円
発行所 カトリック吉祥寺教会
編集者 田・七 種
印刷所 誠社聯合印刷株式会社
〒185(0303) 東京都三鷹市
TEL (03) 5481-1111

【1968年】
なんと定価20円の時代が！
当時の物価で給食牛乳1本と
同じ値段でした

カトリック書籍
福山製作所
〒185 東京都三鷹市 1-195
TEL (03) 5481-0584

【1961年】
教会報に広告が掲載されていたことに
ビックリ

⑦1971年7/4 第200号
この号から活字に進化！



⑧1986年10/19 第325号
70年代から30年続いたロゴ
故・新屋敷春雷先生の揮毫です



⑨1995年4/9 第375号
『教会報』から『シャローム』への名称変更を記
念して、一度だけ使われたヘブライ文字ロゴ



⑩1995～2000年6/4 第400号



◆2000年8/6 第401号～現在



「伝える 繋ぐ」

「シャローム」は、今号で500号を数えました。私たちの教会が正式に小教区となつてから72年、共同体のうちそとのさまざまを伝え続けてくれた先人たちに、深く感謝します。

私事ですが、叔母が亡くなり、遺品の整理。作品・蔵書、手紙に日記をはじめ、こんなものまで遺したか、という膨大な量。残念ながら廃棄せざるを得ないものの一つ一つからも、92年の人生が垣間見えるように思われ、片付けの手も鈍ります。しかし、振り返っても仕方がない、整理するのも受け継いだものの責任でしょう。

いっぽう、共同体はいまも生きて動いています。遺品ではありません。さらに繋いでいかなければ、と思いを新たにします。デジタルの時代、媒体はいろいろでも、記録し続けること、伝え続けること、これも私たちの使徒職。私たちみな宣教だと思えます。

情報を伝えることで、いま、人々を繋ぐことができる。記録があるから、記憶がよみかえる、先人に学べる。記録し、伝える私たちは、昔と今を繋ぐこともできるのかもしれない。
(R.S.T.)

【1986年】日学のリーダーや、教会の若者達の行きつけの店を紹介したことも。吉祥寺愛が溢れています！



80~90年代 社会派の記事が充実

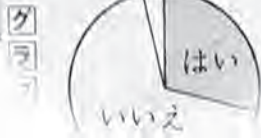
世界では冷戦が終結、日本でも怪しげな高度経済成長期の乱気流に突入した時代。教会報でも、祈りのヒントになるような色々な特集を企画しました。

★1985年6月317号 独自アンケートを実施

いじめの構造

いじめについてアンケートを実施。9月2日、日曜学校全面協力のもと、編集部は独自のアンケート調査を行いました。調査対象は小学4年生から中学2年生までとし、所用時間15分です。この設問に答えてもらいました。アンケートの紙は100部用意し、総数は61名でした。別は、大別して3

▶ あなたは誰かにいじめられましたか



不明

WAR IS OVER!
IF YOU WANT IT

★1995年8月 第376号
夏の平和特集、越境して
沖縄の信者さんにも現状を
伺ったことも

敗戦50年「不戦の誓い」から「平和の創造」へ
戦争しなければ平和なのか? 「基地」の意味も改めて考える

戦争・平和そして私たち

30あのとき私は

「中、われわれキリスト者は、
ればウサンクサイ目で見られ「オマ
は非国民」という暗黙の視線を感じない
では生きられぬ、いわば日陰者のマイ
ノリティだった。作り出された一方的な
官製情報、国民の意識と行動を一つの
巨大な流れに変えていた。「神国日本」
「鬼畜米英」「撃ちてしまえ」「靖国
霊堂」etc……この流れに乗り
「非国民」呼ばわりされるの
と巻き込んだ」

沖縄戦終結五十年

いま問われていること

カトリック名護教区

★1987~92年「風化させてはならない」という思いで、
先輩方の協力を得て6年連続で記録した「戦争・平和特集」
今では既に帰天された方も…。ありがとうございました

変わらぬ試み

シャローム編集部に参加して一年余り。
500号編集にあたって昔の記事を読み、
チャレンジングで率直なのに驚きました。
80年代後半には、「いじめの構造」検証と
して、「なぜ自分はいじめられるのか」という質
問をし合い、また、私たちは聖家族を模範と
しながら、なぜ夫婦に溝ができるのかを信
徒同士で対談特集をしたり。

戦争体験についても特集しています。
80年代の終わり、ちょうどバブル経済最盛
期、皆がお金に麻痺して浮かれていた頃の
特集で、信徒ご自身の体験を決心して語っ
てくださいました。戦争はいかに良心をえ
ぐり傷つけ、判断能力を失わせるのかを伝
えてくださっています。語り継ぐべき大切
なメッセージだと感じています。

どの特集も、変化する社会で生きる生身
の私たちと、信仰を生きる私たちの内面を
近づけてゆこうとするものです。

今、私たちはコロナ禍にあって、経験した
ことの無い社会生活と信仰生活を送って
います。あらゆるところに神様の計らいが
あります。これからも想像力と智慧を総動
員し、果敢な特集をしてゆきたいと思っ
ています。

(Y・M)

【教会報小史】

- 1948 教会報の先駆け『吉祥寺天主教会月報』発行
 1953 『教会報』創刊、謄写版刷り(8月)
 1954 タイプ印刷による会報の発行
 1956 再び謄写版刷りに戻る。4頁の新聞型会報
 1960 『吉祥寺教会会報』に名称変更
 1961(～65)広告が掲載される
 ー1962～65 第二バチカン会議
 1965 『カトリック吉祥寺教会会報』と名称変更(9月)
 活版印刷に。初めて定価(一部10円)が表示される
 1966 「信徒使徒職をめぐって」という初めての
 特集号を発行
 1968 定価一部20円となる
 1969 定価の表示がなくなる
 1974 表紙の写真が大きくなる
 1975 写植・オフセット印刷となる
 1976 250号を発行(11月)
 ー1978・10 ヨハネ・パウロ2世教皇登位
 1986 ・初めて表紙写真がカラーに
 (以降復活祭号、クリスマス号も同様)
 ・B5からA5へサイズ変更
 ー1987 NICE 第1回福音宣教推進全国会議「開かれた教会作り」
 1987(～90)「みんなの広場特集」号外を発行
 ー1993 NICE 第2回福音宣教推進全国会議「家庭と宣教」
 1995 『教会報シャローム』に名称変更(4月)
 A5からB5サイズに戻る。発行が不定期となり
 試行錯誤期
 1997 クリスマス号から隔月発行に復調
 1998 「ひとのうごき」の住所から地番を省く配慮開始(4月)
 ー2005・4 ベネディクト16世教皇登位
 2006 編集部員募集、寄稿のお願い掲載(6月)
 これ以降4回にわたり編集部員募集を掲載
 2008 シャローム休刊のお知らせ(4月)
 2008 7月以降、教会委員会広報係が担当し、年4回発行、
 「ひとのうごき」は毎月のお知らせルアッパーへお引越し
 ー2013・3 フランシスコ教皇登位
 2020 ・コロナ禍を受け、希望する信徒への
 シャローム郵送開始
 ・クリスマス号のカラー印刷断念
 2021 500号を発行(10月)

- 1945 (昭20)
 1950 (昭25)
 1960 (昭35)
 1970 (昭45)
 1980 (昭55)
 1990 (平2)
 2000 (平12)
 2010 (平22)
 2019 (令01)

昭和

平成

令和

特集 家族の見た信者像

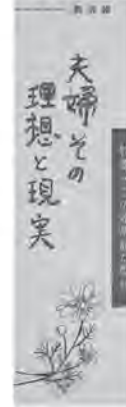
★1983年10月 第303号
 未信者のご家族目線で、「信者」を「教会」を語って
 いただいた企画

★1991年6月
 第354号

特集

いま、
 家庭を
 考える
 文・母・子 問われる家族像

★1991年10月
 第356号



★1993年10月 第368号
 「0422の集い」の意味を考えるために
 近隣のプロテスタント教会の牧師さん
 に「兄弟」としての寄稿を依頼

特集 これからのキリスト者

★なんと1982年に、40年後の今を予言する
 こんな記事が!

「情報革命」と「キリスト者」

大橋良司



★1982年2月
 第290号

化しつつあるのです。また近未来の
 サラリーマンは在宅のまま、端末機
 を通じて会社のコンピュータと結ば
 れて仕事をすることが多くなるとさ
 れています。将来の我々は、個人用

には宗教的な問題であり、究極
 テクノロジーの進歩を「人間疎外」

ではなく「人間指向」のものとして
 いく事に関して、「キリスト者」すな
 わち私達一人一人が、主体的に関与
 する責任を持つのではないでしょ

いつの時代にも問われる
 「これからのキリスト者」
 次の世代に語りかけるメッセージを
 書いてくださる方いらっしやいま
 せんか? 自薦他薦問わず、どうぞ
 編集部までご連絡ください!
 お待ちしております♪

【教会報の役割】

昔も今もこれから

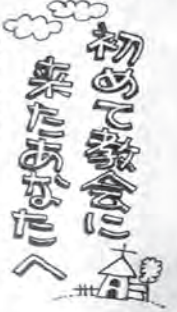
吉祥寺教会の教会報『シャローム』は、人の出入りはあったとはいえ、常時二、三人の方が継続して編集に取り組んできました。そのご苦労は大変なものであったろうと思います。発行頻度が不定期になった時期もありました。

教会報を編集するに当たって、いろいろな編集方針が考えられますが、しばらくは、次のような考え方で取り組みたいと思います。教会報は――

① 所属信徒に教会の様子を知らせるものであること。特に教会に頻繁に來られない方々に教会の様子を知らせ、共同体家族の一員としての関わりを持つていただく手段としたい。

② 情報交換の場であること。教会共同体で活動している人たちの様子を知りながら、互いに教会の構成メン

教会報



「私はいくらでも行くからいいよ」
「初めて教会に来た時の事を、今でもその言葉をはっきり思い出しています。」

「これ、後から来る人には同じ思いをさせまいと心掛けている人は少ないんじゃないかなとも思うのです。」
「自分かとも思いたいと思いたい人を人にしてあげたい。それは思いついてあり優しさの基本であり、私達の信条の一つでもあります。」
「いかに人を温かく迎えるかな、これは教会が抱える永遠のテーマ」

「なだと思えます。」
「でも、もし貴方が声を掛けてもらいたい時に、私達方それに気づかないでいたらめんなさい。」
「そして、もし貴方が一人ていた時に、私達方うつから邪魔をしてしまったらめんなさい。」
「...うんそれならいつでも遊びに来て」
「んんんん」

★1991年6月第354号

バーとしての役割をもつていただくこと。

③ 教会共同体のみなさんには信仰についての励ましとなり、教会に興味を持つ人たちに対しては、教会や教会の考え方を紹介するものであること。

このような方針から内容や発行回数について、その配布方法についても検討してまいりたいと思います。

教会に來る人のためだけでなく、教会に來られない信徒の皆様にも特に気を配る紙面でありたいと思います。教会広報についての、みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。
(1997年3月30日381号の記事「教会報を応援してください」から抜粋)

ひとつのうき

洗礼

新しい兄弟です。よろしく

転入

ようこそ私達の教会へ

転出

結婚

帰天

知り合うきっかけになればと、かつては住所の地番も掲載し、温かく迎え、送り、見守ってきた「ひとつのうき」ですが、教会活動を伝える写真等も含め、プライバシー保護の為に配慮が必要な時代に突入。新しい時代の常識に気をつけながらいかに繋がるかが、これからの課題です。

(現在はルアッハーに掲載)



Kia Ora Haera' Mai Nau Mai !

ジユン・ペラルタ神父
Pa Anahera

～マオリの人々と
歩んだ日々～



キア・オラは、「こんにちは」の挨拶と同時に、感謝の気持ちを表し、愛を送りつなかりをつくることを意味します。キア・オラは、ニュージーランド全土でよく耳にする温かい歓迎の挨拶で、先住民マオリの言語 *te reo* に由来します。ハエレ・マイ・ナウ・マイは「ようこそ」と歓迎し「いらっしやい」と招き入れる言葉です。

私にとって、ニュージーランドのファーンオース地方(オークランド教区)で布教活動を経験し、そこでマオリの兄弟姉妹に歓迎され、彼らとつながり、信仰の旅を共にすることは、本当に恵まれた機会でした。マオリの人々は自分たちの土地、文化と信仰、生と死に深く根ざした生活をしてきたのです。その旅は13ヶ月と

短いものでしたが、本当に豊かな時間でした。

私はバングルの質素で小さな聖ペテロ教会に住み、ホキアング周辺に点在するさまざまなマオリのコミュニティを日曜に限らず他の曜日にも、遠いところでは悪路を片道2時間かけて巡回しました。こうした巡回はフロンティアアミッションだったと思います。そこはニュージーランドの最北部、険しい山や森、海や川ばかりの迷子になりそうな場所でした。都会の雰囲気から全く切り離された自然の真ただ中でしたが、そこは真に神の創造物に満ちた土地、マオリの家でした。ファーンオースカトリックミッションは、ニュージーランド最初のカトリック布教活動の拠点で、ジャン・バプティスト・ポ

ンパリエウ司教が1838年に上陸し、布教活動を開始した場所です。2002年に彼の遺体はフランスからニュージーランドに戻り、現在はモツティ教会の祭壇の下に眠っています。

志願してここにきて、たった一人の宣教師としてマオリの人々と信仰を持って共に歩んだことは、神様からの大きな祝福でした。私は本当に恵まれています。この経験の締めくくりとして、私はマオリの兄弟姉妹、私の家族や日本からはるばる訪れてくれた友人と一緒に50歳の誕生日を祝いました。Pa Anahera (私のマオリ名) にとって、なんと楽しく有意義な宣教の旅だったのでしよう。

キリストによって、キリストと共に、キリストのうちにもう一度挨拶を、「キア・オラ、キア・オラ」。そして皆さんを私たちの創造主に向かう人生の旅に招き続けましょう、「ハエレ・マイ・ハエレ・マイ・ナウ・マイ」。

※ジユン・ペラルタ神父は13年から約1年吉祥寺教会助任、16年からニュージーランドで布教、現在、名古屋、布池教会協力司祭。

★You can read the original English version on our website.



常駐司祭は空席

主日ミサを軸に
信徒みんなで教会を守る



今年10月に創立60周年を迎えた荻窪教会。聖堂建設にはドイツケルン教会からの支援を受け、第二バチカン公会議後は新方式のミサを率先して行なうモデル教会として注目されました。その後は17

年間にわたって社会福祉施設の運営を全面支援し、地域社会に貢献してきた歴史を持っています。信徒数は453名(2019年)、コロナ禍直前の主日ミサの参加者数は80名ほど。「非常に家庭的な教会です」と教会委員長さん。

吉祥寺教会とは同じ武蔵野南宣教協力体に属し、昨年からビジュ神父が小教区管理者を兼任、吉祥寺教会の司祭団が主日ミサを交代で司式しています。この機会に信徒同士もつながりを持ってたら、と荻窪教会の方々にお話を伺いました。

東京教区は以前から教区司祭の高齢化が進み、将来の司祭不足を想定したメッセ

ージをたびたび発信していました。荻窪教会では高齢の主任司祭が病を患ったため、2017年に小教区管理者が設置され、昨年帰天された後も常駐司祭は不在のままとなっています。

その主任司祭が司式されていた当時のミサでは、侍者が司祭を介助、聖体拝領は司祭が任命した奉仕者が行ない、内陣に手すりを設置するなど、様々な対応を行なっていました。また将来、勉強会ができなくなることを案じた主任司祭の発案で、教区カテキスタ養成講座が始まる前から、信徒による勉強会も始めていました。

「教区からは(今後増えるであろう)『常駐司祭がない教会』のモデルケースとしてがんばってほしいと。そう言われても…」と戸惑いながらも、不都合があれば教区や小教区管理者と相談、改善しながら教会運営を続けていきます。

現在、葬儀など緊急時はビジュ神父と教会委員長の携帯番号を信徒に公開して対応。聖堂・信徒会館の管理は施設管理担当の信徒1名が行ない、事務受付なども担当ごとに鍵を預かり、奉仕しています。維持献金は信徒各自が財務委員に手渡し(振込可)する方法です。

コロナ禍も重なった目下の課題は、ミサに参加できなくても共同体としてのつながりを保てる信徒への連絡方法。特にネット環境のない方々には電話をし、希望者には『聖書と典礼』や広報誌を郵送しています。「常駐司祭が空席になる心積もりはしていたものの、予想よりも早くなって大変でした。これからも工夫を重ねて乗り切っていきたい」と話されていました。

お話を伺った荻窪教会の方々／

(順不同・敬称略)協力ありがとございました



★カトリック荻窪教会HP→ <https://www.ogikubo-catholic.info/>



日曜学校再開

昨年のご復活前に突然休みに入ってしまった日曜学校は、この2学期から再開する予定です。

月に2回(第1・第3日曜)、9時のミサに始まり、その後、各クラスでリーダーと一緒に学びます。

リーダーたちは、休みの間、毎月の日学だよりEを通じて子どもたちに発信していたことを、直接語りかけられる喜びでいっぱいです。

もちろん、それぞれの学校や家族などの出来事も分かち合います。

やっと、担当司祭のアンディ神父様と荒田神父様にもゆつくり会えますね。

ずっとできなかったリーダー会も、授業再開前に開いてコロナ対策の確認なども行う予定です。

なかなか先が見えませんが、できる事を少しずつでもやっつけていこうと思います。



題字はアンディ神父様。3年前に来日するまで日本語の文字を見たことがなかったそうです。

【日曜学校の今】

小学生

1年3人、2年3人、3年6人、

4年3人、5年9人、6年3人

中学生

1年4人、2年6人、3年1人

小学生24人、中学生11人が在籍しています。1・2年、3・4年、5・6年、中学生のクラスに分かれて1時間ほど授業をします。

信者、未信者を問いません。お申し込みはいつでも事務室、または、日曜学校リーダーまでどうぞ。



今年も夏休みの八ヶ岳合宿の様子はお届けできませんが、夏休み中の子どもたちに神様をお願いしたいことを聞きました。

「コロナが終わって友達と沢山遊べますように」 (小1)

「コロナがおさまってマスクを取ってアフリカへ行きたい！アフリカで人の探検をしたい！」
「天に帰ったおじいちゃんに会わせてほしい。一緒に将棋して遊んでみたい」
「神さまに体をちーつちやくしてもらって、咽頭から直腸まで体の中を通って見てみたい！」 (小1)

早くコロナがおさまって、みんなが教会へ行けますように」 (小3)

「コロナが早く終息して、マスクを外して、みんなに会えますように」 (小4)

「コロナがおさまって家で友達と遊べますように」 (小5)

世界平和

(小6)

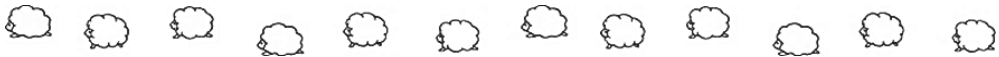
「コロナが終わりますように」 (中2)

「野球の選手になりますように」「おじいちゃんを生き返らせて下さい。生き返るのがむりならお話しができればいいです」 (小5)

「一刻も早くコロナがおさまり、また皆が楽しく生活出来ますように」 (中1)

「コロナの心は折れないの？神さま、折って！」 (中2)

「なるべく早くコロナ終わらせてください」 (中2)



教会の動き

〈5月〉

2823日 聖霊降臨の主日(ミサライブ配信)
 日 会館内清掃
 教会委員含む有志3名、司祭団

洗礼、おめでとう!



5月22日
リノ



5月16日
アーノルド・ヤンセン

※ 幼児洗礼をご希望の方は事務室にてお申込み下さい。

〈6月〉

5日 教会委員会(オンライン)
 26日 主日ミサ再開
 日曜学校ミサ

29日 高齢者ミサ
 3029日 高齢者ミサ

〈7月〉

3日 教会委員会

委員会前に教会委員有志で会館入口、外回り清掃

4日 典礼奉仕者連絡会

8日 四度目の緊急事態宣言発出

主日ミサ、教会活動は継続

11日 8月末までのミサ参加予約開始

連合委員会

ミサ時間・ミサ参加予約制への変更・ミサ案内奉仕人数担当について・避難訓練・みんなの広場開催方法について

〈出席者〉ヨゼフ会・マリア会・日曜学校・青年会若葉・英語ミサ・教会委員・司祭 計11名

24日 主日ミサ予約制になる

平和句間ミヤンマーの教会のための特別募金箱設置

25日 日曜のミサ時間変更

9時、10時半、17時の3回になる
 洗礼希望者のための第一回入門講座(日曜日コース 講師 丹羽真理恵)

31日 洗礼希望者のための第一回入門講座(土曜日コース 講師 司祭団)

〈8月〉

5日 新型コロナウイルス感染者数の増加が続くため吉祥寺教会での7日から29日までの主日ミサ、教会活動中止決定

14日 東京大司教区より8月16日から9月12日までの公開ミサ自粛お知らせ

吉祥寺教会でも9月12日まで主日ミサ、教会活動を中止決定

15日 聖母の被昇天(ミサライブ配信)

1日 アンディ神父帰国休暇に出発

〈9月〉

洗礼希望者のための入門講座

丹羽真理恵講師の紹介



58年札幌生まれ。
 幼児洗礼を受ける。
 結婚後、子ども達に信仰を

伝える言葉が皆無と気づき、キリスト教を体系的に学ぶため40代で上智大学

神学部に編入学する。同時に霊性センターせせらぎの黙想指導を受け、祈りを通して深める神との関わり方を教えられる。

15年より神の愛を知り、隣人と善く生きるための信仰講座を担当。

司祭団の近況



アンディ神父帰国休暇前に司祭団集合
左からボスコ、アンディ、ビジュ・・・後藤、ラディティア・・・荒田、ソリス神父

荒田神父

数年ぶりに軽井沢黙想会に参加しました。朝ミサの説教が長かったです。

ラディティア神父

やってみたらナイスだった経験です。賄いさんが夏休みのある日、昼食を作ろうとチャーハンの素を買いました。ご飯を一晩冷蔵庫で冷やすのを忘れたので、炊飯器で保温中の玄米で作ってみたら普通よりおいしかった！
意味や味覚については論じることができない
de gustibus non est disputandum というラテン語の諺もありますが、興味のある方やってみてください。

ビジュ神父

コロナ禍で何ができるか考え続けてきましたが、実際信徒の皆さんと関わって行う事は何もできず、残念です。昨年から手入れてきた教会の庭は緑豊かになると同時に雑草引きと水やり時間にがかかります。夏の間、ひまわり200本も元気に咲きました。教会は誰がいつ来ても気持ちが良いように整えて皆さんを待っています。教会に来られる時は、気軽に庭の手入れの手伝いをして下さると嬉しいですよ。

ボスコ神父

本当の信仰は、良い活動に現れます。
(Real Faith is seen in good actions.)

ソリス神父

最近も相変わらず部屋でレポートを書いたり勉強しています。コロナ禍で制限されている学生生活は大変ですが、神様のみこころが行われますように。きっといつか普通の日常が戻ることを信じています。

後藤神父

某日某所にて
「夏の一句をお願いしていましたが？」
「・・・夏草や兵どもが夢の跡」
「それじゃ盗作ですよ。神父様の一句を」
「それはね、辞世の句まで待っておくれ」
一句は当分先になりそうです。
※現在は司祭館を離れて静かな場所にて静養中です。

アンディ神父

夏の間、皆さんと一緒にミサをささげられませんでした。コロナ禍の中で一人でも多くの人と福音を分かち合いたいとYouTubeを始めました。
「Randy Lahurus」というチャンネルをフォローしてみてください。他に視野を広げる為に読書や、日本語で日記を書いたり、教会の庭を掃除したり、ギターやピアノを弾いたりしています。
※9月から12月半ばまで帰国休暇中です。

2021年度

キリスト教講座

曜日	時間	内容	担当者	対象	場所
第1・第3日曜日	10:30	キリスト教入門講座	丹羽講師	洗礼希望者	1階 中ホール
第2・第4土曜日	15:30	キリスト教入門講座	司祭団	洗礼希望者	1階 中ホール

※ 現在、洗礼希望者のための入門講座のみ開講中です。

- ◆ 表紙写真は写真家の新津保建秀しんつぽけんしゅう氏の撮影。コロナ禍で教会に来られない方にも、「教会はいつもここで皆さんを待っています」のメッセージを込めた写真です。
- ◆ AED(自動体外式除細動器)を設置しました
聖堂入口維持献金袋棚の上に設置しました。緊急の際にお使い下さい。
- ◆ 教会からのお知らせに目を通して下さい
今年もみんなの広場は開催できませんでした。この先もミサや行事を予定通り行うことができないことがあると思います。
- ◆ 教会からは、一斉メール・ホームページ・毎月第一日曜日発行のルアツハー・季刊のシャロームと複数の媒体でお知らせを発信しています。必ずどれかに目を通して下さい。なお、ルアツハー、シャロームはご希望の方に郵送いたします。事務室までご連絡下さい。
- ◆ 仲間募集中！
シャローム編集、ミサのライブ配信、青年会、侍者当番とさまざまなことに真摯に取り組んでくれたKさんが東京を離れ故郷で新しい生活を始めることになりました。出会えたことに感謝、これからの生活にお恵みを。
- ◆ メンバーが減った広報、ミサライブ配信の仲間を募集中。いつでも誰でも大歓迎。教会委員会広報担当までお気軽にお申し出下さい。
- ◆ シャローム次号は12月24日発行です。(広報工)

■ 売店と事務室の受付時間 (通常) ■

火, 水, 金, 土, 日 9:30~17:00

※ 定休日: 月, 木曜日, 祝日

(受付時間は、変わる場合があります)

売店は当面土、日のみ開店

■ ミサ時間案内 (通常) ■

主日: 9:00 / 10:30 / 17:00

*第1 15:30 (英語)

第3 15:30 (英語又はタガログ語)

土曜: 17:00 (主日のミサ)

■ 教会報 シャローム ■ NO. 500 2021年10月17日発行

カトリック吉祥寺教会 教会委員会 広報

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1-7-8

TEL 0422-44-0181/FAX 0422-44-0180 URL ▶ <https://svdtokyo.jp/>

教会維持献金振替口座 郵便振替: 口座番号/00120-1-106084

加入者名/カトリック吉祥寺教会

